



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年6月30日

上場会社名 ソーバル株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2186 URL <http://www.sobal.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 推津 順一
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 岩崎 恭治（TEL） 03-5482-1222
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績（平成23年3月1日～平成23年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	1,504	—	54	—	54	—	30	—
23年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	14.24	14.22
23年2月期第1四半期	—	—

(注)平成24年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年2月期第1四半期の数値及びこれに係る対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	2,649	1,897	71.6	873.49
23年2月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 24年2月期第1四半期 1,897百万円 23年2月期 —

(注)平成24年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年2月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月	—	7.00	—	10.00	17.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,991	—	126	—	127	—	78	—	36.33
通 期	6,255	—	270	—	270	—	163	—	75.33

(注)1 当四半期における業績予想の修正有無： 無

2 平成24年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年2月期第1四半期	2,171,900株	23年2月期	2,171,900株
-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年2月期第1四半期	88株	23年2月期	33株
-------------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)

24年2月期第1四半期	2,171,843株	23年2月期第1四半期	2,171,900株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の平成24年2月期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報等.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
【参考資料】	9
(1) 貸借対照表.....	9
(2) 四半期損益計算書.....	11
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成23年2月期及び平成23年2月期第1四半期の数値並びにこれらに係る対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済といたしましては、北アフリカや中東の政情不安に伴う原油価格高騰や、ヨーロッパでの財政問題などがありました。中国をはじめとするアジアや中南米の新興国での好調な景気の持続により全体としては、緩やかな回復基調で推移しました。

我が国経済におきましても電機メーカー・設備投資関連の復調が期待されていましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、今後の経済活動に大きな影響を与えることが懸念されております。

このような経済環境の中、当社のエンジニアリング事業に関しましても、震災の影響による、請負案件の延期や単価の引き下げ要求等が若干数見受けられたものの、派遣業務に関しましては、空き工数の削減や残業時間の増加等により順調に推移いたしました。しかし今夏の各顧客企業におけるシフト勤務やサマータイム導入による残業抑制の懸念があるため、今後とも積極的に営業活動を実施してまいります。

これらの結果、エンジニアリング事業における売上高は1,458百万円となりました。

また、その他事業におけるRFID事業及びネット関連事業に関しましては、案件の引合い・受注が増加した結果、売上高は46百万円となりました。

以上の結果、第1四半期連結会計期間における売上高は1,504百万円、営業利益は54百万円、経常利益は54百万円、四半期純利益は30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計額は2,649百万円となりました。また、負債合計額は752百万円、純資産合計額は1,897百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,464百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は221百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益52百万円の計上、賞与引当金の増加161百万円、売上債権の減少111百万円などの資金増加要因が、法人税等の支払174百万円などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は46百万円となりました。これは主に新規連結子会社の取得によ

る収入61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20百万円となりました。これは主に配当金の支払額20百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響は今後も懸念され、先行きの見通しを立てにくい状況となっております。現時点におきましては平成23年4月13日付「平成23年2月期 決算短信」において発表いたしました業績予想から変更はございませんが、今後業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(注)当社は、当第1四半期連結会計期間より「株式会社コアード」を連結子会社とし、連結決算による開示に変更しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,464,429
受取手形及び売掛金		580,827
仕掛品		194,689
原材料		905
その他		153,839
貸倒引当金		△8,785
流動資産合計		2,385,906
固定資産		
有形固定資産		157,870
無形固定資産		20,330
投資その他の資産		85,821
固定資産合計		264,021
資産合計		2,649,927
負債の部		
流動負債		
買掛金		1,346
未払法人税等		28,755
賞与引当金		333,392
受注損失引当金		4,090
その他		266,716
流動負債合計		634,301
固定負債		
役員退職慰労引当金		118,572
固定負債合計		118,572
負債合計		752,874
純資産の部		
株主資本		
資本金		212,330
資本剰余金		117,330
利益剰余金		1,567,451
自己株式		△57
株主資本合計		1,897,053
純資産合計		1,897,053
負債純資産合計		2,649,927

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	1,504,694
売上原価	1,221,344
売上総利益	283,350
販売費及び一般管理費	228,628
営業利益	54,722
営業外収益	
受取利息	47
その他	133
営業外収益合計	181
経常利益	54,903
特別利益	
負ののれん発生益	3,574
貸倒引当金戻入額	668
特別利益合計	4,242
特別損失	
固定資産除却損	129
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,249
特別損失合計	6,378
税金等調整前四半期純利益	52,767
法人税等	21,848
少数株主損益調整前四半期純利益	30,918
四半期純利益	30,918

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		52,767
減価償却費		4,909
負ののれん発生益		△3,574
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		△668
賞与引当金の増減額 (△は減少)		161,179
受注損失引当金の増減額 (△は減少)		△24,336
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)		3,970
受取利息		△47
固定資産除却損		129
売上債権の増減額 (△は増加)		111,689
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		6,249
たな卸資産の増減額 (△は増加)		24,252
未払金の増減額 (△は減少)		△5,777
未払費用の増減額 (△は減少)		18,854
その他		46,377
小計		395,974
利息の受取額		47
法人税等の支払額		△174,081
営業活動によるキャッシュ・フロー		221,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△1,149
無形固定資産の取得による支出		△5,448
差入保証金の差入による支出		△9,043
差入保証金の回収による収入		857
新規連結子会社の取得による収入		61,282
その他		50
投資活動によるキャッシュ・フロー		46,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出		△35
配当金の支払額		△20,838
財務活動によるキャッシュ・フロー		△20,874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		247,614
現金及び現金同等物の期首残高		1,216,815
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,464,429

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日）

当社グループはエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期に係る財務諸表等

当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成しておりませんが、参考までに貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,216,815
受取手形	6,762
売掛金	647,573
仕掛品	186,993
原材料	710
前払費用	39,145
繰延税金資産	108,156
その他	11,150
貸倒引当金	△9,226
流動資産合計	2,208,080
固定資産	
有形固定資産	
建物	195,527
減価償却累計額	△124,989
建物(純額)	70,537
車両運搬具	6,761
減価償却累計額	△6,559
車両運搬具(純額)	202
工具、器具及び備品	61,973
減価償却累計額	△51,174
工具、器具及び備品(純額)	10,798
土地	78,907
有形固定資産合計	160,446
無形固定資産	
ソフトウェア	15,911
その他	4,447
無形固定資産合計	20,358
投資その他の資産	
長期前払費用	2,860
繰延税金資産	10,405
差入保証金	70,000
投資その他の資産合計	83,266
固定資産合計	264,071
資産合計	2,472,151

(単位：千円)

前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成23年2月28日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,492
未払金	81,922
未払費用	46,816
未払法人税等	131,051
未払消費税等	48,264
前受金	493
預り金	15,769
賞与引当金	164,712
受注損失引当金	25,911
その他	625
流動負債合計	517,059
固定負債	
役員退職慰労引当金	67,202
固定負債合計	67,202
負債合計	584,262
純資産の部	
株主資本	
資本金	212,330
資本剰余金	
資本準備金	117,330
資本剰余金合計	117,330
利益剰余金	
利益準備金	23,750
その他利益剰余金	
別途積立金	40,000
繰越利益剰余金	1,494,501
利益剰余金合計	1,558,251
自己株式	△22
株主資本合計	1,887,889
純資産合計	1,887,889
負債純資産合計	2,472,151

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	1,394,765
売上原価	1,160,361
売上総利益	234,404
販売費及び一般管理費	204,572
営業利益	29,831
営業外収益	
受取利息	68
その他	649
営業外収益合計	718
営業外費用	
支払利息	285
その他	3
営業外費用合計	288
経常利益	30,261
税引前四半期純利益	30,261
法人税等	13,316
四半期純利益	16,944

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	30,261
減価償却費	6,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	223
賞与引当金の増減額(△は減少)	141,861
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△730
受取利息	△68
支払利息	285
売上債権の増減額(△は増加)	△41,914
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,919
その他	43,080
小計	146,564
利息の受取額	68
利息の支払額	△285
法人税等の支払額	△2,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,590
無形固定資産の取得による支出	△1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	△600,000
配当金の支払額	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	139,134
現金及び現金同等物の期首残高	903,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,043,106